

# 令和7年度 横浜市立本町小学校 第1回学校運営協議会 記録

日 時:令和7年5月10日(土) 10:00~11:40

<参加者> 12名 <当日欠席> 3名

## 1 開会挨拶(副校長)

## 2 委員自己紹介

## 3 委員委嘱

校長から各委員に委嘱状



## 4 役員選任

## 5 会長挨拶

○地域と学校のパイプ役として担っていければよいと思っている。

## 6 今年度の学校運営について(校長)

○令和7年度~令和9年度の中期学校経営方針について

○今年度の研究指定について

- ・文部科学省実践研究協力校
- ・横浜市立小学校長会 専門研究校「教育課程の編成」
- ・横浜市 豊かな心を育む教育推進校

○学校経営について

- ・最重要課題として、引き続き「いじめ事案」の未然防止、再発防止について、全校職員で全力で取り組む。
- ・教職員は、子どもの心に響く言葉かけの励行に努める。
- ・教職員による、不適切指導、体罰、懲罰的な指導は厳に禁ずる。
- ・今後の学校運営協議会で、この資料を基に、学校経営方針について質問、意見等をいただきたい。
- ・学校、地域、家庭(保護者)が連携、協力して児童の安全な生活を第一に学校運営をしていきたい。

## 7 委員の皆様より

- ・最近の学校を取り巻く、様々な事件や事故が痛ましい。運営協議会の会長として、本町小の卒業生としても安全な学校運営に協力していきたい。
- ・小学校の児童や卒業生に声をかけられると嬉しい。
- ・学校、家庭、地域との連携を大切に感じる。

- ・先生たち、大変だと思うが、健康に気をつけて尽力してもらいたい。
- ・先生たちの指導については、分からないこともあるが、地域として何ができるかを考え、子どもたちのために努めていきたい。
- ・下校については、防犯協会の下部組織が見守り等を行なっているが、さらに、子どもたちのために何かできることはないか努力していきたい。
- ・消防の活動で関わっているが、本町の子どもたちは、とても熱心。興味をもって学習に臨んでいる。
- ・子どもたちを取り巻く環境も変化していて、学校も色々と大変だなと感じる。
- ・老松は地区が離れていて、本町小の子どもたちの地域への参加が課題。
- ・子どもたちは、手伝いが好き。何か子どもたちにしてもらえないか考えていきたい。
- ・子どもたちを褒める。「ありがとう」の声かけなどを大切にしたい。
- ・地域の行事、本町小学校や横浜吉田中学校の子どもたちに協力してもらわないとできないことがたくさんある。何年もそんな活動ができていくことが嬉しい。
- ・先日の他都市での事件を受けて、「安全」について、みんなで協力して対応していけるとよいと感じる。
- ・町内会等を通して、ガス灯クラブの活動の活性化をしていきたい。
- ・先日の他都市での事件を受けて、他施設の設備などを参考に取り入れられたらよいと感じた。不審者については、侵入を防ぐのがベストだが、学校という環境はなかなか難しい。
- ・不審者には、間合いをとって接することが大事。
- ・本町の地域は繁華街。色々な人がいるので、防犯については注意が必要。
- ・平日は毎日 140 名程度来ている。施設が限られている中で運営している。
- ・中区の中でもダントツに多い。
- ・今年の 1 年生は、落ち着いた子が多い。
- ・言葉での指示が通らない子も多く対応が難しい。人との距離感に関する課題や暴力的な行動、ケンカなども多くある。
- ・申し込みもペーパーレスとなり、メール等を利用。便利な反面、保護者との直接的なやり取りが減っている中、保護者との関係性を構築するのが難しい。
- ・本町小の中にある施設。本町小スタンダードをしっかりと意識して、子どもたちの支援をしていきたい。
- ・授業参観を見ていると、自分の子どもの頃との違いを感じる。今の学校は、子どもたちの意見を先生たちがしっかりと聞いて授業をしている。子どもたちが発言しやすい環境を作ってくれているのも感じる。先生たちは、どうやって授業の準備をしているのだろうと思う。
- ・先生に子どもたちが自分の意見を言える環境や指導がありがたいと思う、反面、先生たちの立場なども、子どもや保護者が意識して接して欲しいと思う。
- ・子どもにかかる時間が少なくなっている昨今の中で、保護者同士のコミュニケーションの希薄さも感じる。その中で、何ができるかを PTA として考えていきたい。
- ・今年、子ども安全委員が 44 名おり、地域との連携を図りながら子どもの安全について取り組みたい。
- ・子ども食堂の取り組みがとても楽しそう。
- ・今年度、教育奨励会のメンバーが全員新しくなっている。

- ・学校と地域をつなぐ役割が教育奨励会であると思っている。コロナ禍を経て、希薄になったところもある。今後の活動を考えていきたい。
- ・本町フェスティバル以外、活動が見えにくい部分がある。学校の行事等もサポートしていきたい。
- ・子どもにフォーカスして、子どもたちの安全(防犯、防災)や教育活動について考えていきたい。
- ・予測困難な時代。そこに立ち向かう子どもたちは、主体性、想像力、コミュニケーション力を身につけていけないといけない。
- ・子どもたちも多様化しており、関わりが難しい。学校現場も大変。
- ・「ありがとう」「助かったよ」など、子どもたちがやる気が出るような声かけが大切。
- ・何かあった時は「学校に何とかして」ではなく、困り感を捉えて、子どもたちのためにと相談し合うことが大切。
- ・子どもたちが、この先「良い生き方」ができるように考えていきたい。
- ・本町は確かに別格な小学校。PTA が無い時代に教育奨励会という組織が作られたり、文科省から研究指定を受けたりと全国的に発信できるような取り組みを本町はしている。
- ・横浜銀行アイスアリーナはリニューアル 10 周年。オリンピックに向けてスケートリンクを広く周知したい。旧神奈川スケートリンクは日本で最初のスケートリンクだそう。
- ・本町の街には「材」がたくさん。素晴らしい人材、歴史的な建物がある。
- ・横浜市は 5 年間で全ての学校の体育館にエアコンをとっている。本町小の優先順位を上げるためにも学校運営協議会から声を上げていきたい。
- ・高校は私学が無償に近くなり、公立高校の定員割れも予想される。高校が義務教育化のようになる。
- ・中学校は義務教育最後。社会人としてどう生きていくか、その素養を身につけさせないといけない。規範意識の養成も課題。
- ・子どもたちは「守られる立場」。中学校では、将来「守れる立場」になるように支援していきたい。しかし、昨今では子どもたちを犯罪者にしないという意識も必要だと感じている。中学生だけではなく小学生も暴力や暴言、ネットトラブルなど、様々な事件が身近にある。
- ・先生たちの時間外勤務の問題。時間に関してはなかなか減らすのは難しい。その中で、先生たちが疲弊感、負担感を感じない職場を作らないといけないと思っている。
- ・外国籍の生徒には、通訳が必要。対応の時間もはるかにかかる。また、共働きの家庭が今は多く、連絡もつきにくい。当然、保護者に連絡するのも時間がかかる。
- ・教育現場には、「これをやってください」の指示がどんどん増えるが、「これはやらないでよい」はこない。

## 8 今後の予定について

### ○学校運営協議会

第二回・・・9月12日(金)校内授業研究会参観

第三回・・・10月21日(火)教職員とディスカッション

第四回・・・2月27日(金)学校評価

## 9 閉会挨拶(副校長)